

# U A ・ P A プロジェクト

## 【目指す子どもの姿】

- ・一人一人が安心して学級で過ごし自分の力を発揮している姿

## 【U A ・ P A プロジェクト 2 年目の挑戦】

思考錯誤の1年目、地に足を付けて歩み始めた2年目。当プロジェクトを代表する2つの活動を紹介する。

### ・支援の柱となるチーム支援会議

今年度、低中高学年部3つのチーム支援会議で約30件の事例検討を行った。学期1回の会議を定例化し、目標を立て、実践し、評価するというサイクルが途切れないうようにした。

さらに対応が困難な児童や緊急を要する児童については、月1回のペースでチーム支援会議を開き、その対応について検討した。関係者間で共通理解して児童にあたり、組織的な支援で担任を最大限サポートしてきた。

### ・U A ・ P A の情報収集と発信

U A ・ P A のアイデア光る取組がさまざまな場面で展開されるようになった。下の写真は、見学の際の約束をキーワードで示した紙を見せながら話をしている担任である。教室の外で注意が散漫になりがちの中で、どの子にもわかりやすく伝えるにはどうしたら良いか考えて実践した例である。

このような各学年・学級の効果的な取組を収集し、全職員により広く発信するために「U A ・ P A プロジェクト通信」を発行してきた。



【わかりやすく話を伝えるために】



【チーム支援会議の様子】



【U A ・ P A プロジェクト通信】

## 【成果と課題】

- ・支援チーム会議での話し合いが学級での担任の適切なアプローチとなり、児童の変容につながってきている。しかし、チーム内で話し合っているだけで、全職員に伝わらないという反省点があった。今後は、週1回の連絡会をもっと活用していきたい。
- ・各学年・学級で実践された効果的なU A ・ P A を紹介することで、それらを職員間で共有することができた。今後は、公共スペースや委員会活動などにU A ・ P A を積極的に取り入れ、子どもたちが安心して学校生活を送れるように全職員で取り組んでいきたい。